

図書館だより 11月号

川之石高校図書委員会



ついこの間まで季節外れの暑さだったのが、一気に冬になったような寒さになり、体調管理の難しい季節になってきました。期末考査も近く、なかなか読書どころではないかもしれませんが、放課後の学習にも図書館を利用してみてください。そして考査が終わり一息ついたら、ぜひ図書館で本を借りて読んでください。新しい本も入っていますよ。



〔新任の先生より〕

「歴史から学ぶ」

保健体育科 井上 佳彦 先生



少し前まで、私は戦国を描いた歴史小説が好きでいろんな本を読んできました。日本の歴史で言えば戦国時代のもの。中国の歴史で言えば春秋戦国時代や三国時代のものなど、勇ましい武将が個性的な武器を持ってぶつかり合う場面は迫力があり読み飽きることがありません。特に、中国のかなり古い時代を描いた宮城谷昌光氏の小説が大好きで、そのほとんどを読破しました。その当時の歴史的背景や人間の心理状態、人と人との絆などが繊細に描かれており、その時代に生きる一人の人間の気持ちになって物語に没頭することができるのです。ただし、戦国時代小説といえど、戦争に明け暮れるだけの物語ではなく、戦争を避けようと思ひ悩む君主の姿や、やむを得ず戦に突入する武将の苦悩などは現代人にも繋がるものがあります。

現在、世界中で戦争や紛争が絶えず起きていて、毎日多くの尊い命が失われています。「歴史は繰り返す」ではなく「歴史から学ぶ」選択をすることはできないか？これまで人間は多くの戦争を繰り返してきました。そろそろ過去の歴史から学び、戦争のない平和な世界を切り開くことはできないか？そのためには、歴史を知ることが大切だと思うのです。

現在の私は、池上彰氏の現代史について書かれた本をよく読みます。池上氏も過去の歴史から学ぶことが大切だと記述しています。戦国時代に興味をもったことがきっかけですが、歴史に関心をもつことができた今、さらに面白い本をみつけて歴史を学びたいと思っています。

〔新刊図書の紹介〕

『わたしのげぼく』（上野 そら 著 くまくら 珠美 絵）

どんくさい「げぼく」と一緒に暮らすネコの「わたし」。「ほんとうに、しかたのないやつだな。わたしのげぼくは」ともに笑い、時にはケンカし、そして迎える切ない別れ。生き物を飼っている人にも、飼っていない人にも、ぜひ読んでもらいたい本です。



『キミが信頼されないのは話が「ズレてる」だけなんだ』

（横山 信弘 著）



誰もがやりがちな、ぼんやり話したり、聞いたりする点を直し、仕事で正確かつ円滑にコミュニケーションを取るための「上手な聞き方」「確認の仕方」「質問の仕方」「話の展開の仕方」などを4コマ漫画を交えてわかりやすく具体的に紹介しています。

『世界でいちばん透きとおった物語』（杉井 光 著）

【著者コメント】

「これまでの読書人生において一度だけ、読み終わった後にただ言葉を失うしかなかった、という本がありました。それに匹敵する純粋に強烈な読書体験を、読者にぶつけてみたい。そんな想いでこのアイデアをプロットに落とし込み、多くの方々の協力を得て本の形にしました。出版できたこと自体がすでにひとつの奇蹟です。」



※12月に今年度最後の図書購入を行う予定です。図書館にない本で読みたい本があれば、用紙に希望図書を書いてリクエストBOXに入れてください。11月中にお願いします。

〔10月 月間図書貸出冊数〕

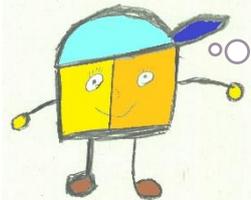
〈クラス別〉

10月1日～10月31日

1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	合計
3冊	0冊	0冊	10冊	5冊	24冊	2冊	3冊	2冊	49冊

〈個人別〉

1位 8冊（2-3）清水 美愛
 2位 4冊（2-1）清水 英磨
 2位 4冊（2-3）竹内 夢乃



最近本を借りる
 人が少ないなあ
 ...

「本とは、あなたが手に抱える夢である。」

ニール・ゲイマン（イギリスの作家／1960～）